

東京藝術大学 × 酒田市連携企画

歩く！

アート鑑賞を始めよう



歩きながら作品を見る、ちょっと不思議なアート鑑賞入門講座です。目で見ただけでなく、歩いたり、話したり、体と心を全部使って楽しく鑑賞するヒントを伝えます。アート好きな方も、初心者の方も大歓迎です。

※長い距離を歩くわけではありません。ウロウロと歩き回って様々な視点から作品をよく見ることを推奨した鑑賞方法です。また、歩く場所は室内です。

日程・開催場所：（1回から参加OK）

- ①「さんぼ鑑賞」 大きく印刷された絵画の上を歩く、ちょっとユニークなさんぼ体験！
日時：2024年12月14日（土）14:00～16:00 [場所：ミライニ3階研修室]
- ②「カード鑑賞」 アーティストが考案したオリジナルカードで、アートをもっと楽しもう！
日時：2025年1月18日（土）14:00～16:00 [場所：ミライニ3階研修室]
- ③「美術(旅)館で鑑賞」 まちかどの旅館が、アート鑑賞の場に変身！
日時：2025年2月9日（日）14:00～16:00 [場所：若葉旅館ロビー]

こんな方におすすめ

- ・子供やパートナーと美術館(or美術作品)を楽しみたい。
- ・アートの楽しみ方を知りたい。
- ・ビジネスの現場にアートを活かしたい。
- ・自身でアート鑑賞会をやってみたい。



講師：佐藤 悠

全国の芸術祭にアーティストとして積極的に参加する傍ら、独自の鑑賞プログラムを美術館、企画研修、教育機関・自治体等で多数実施。初心者、親子、ビジネスパーソン、研究者など、ニーズに合わせた楽しい鑑賞アイデアを紹介している。

yusatoweb.com



▲申込みフォーム



▲プログラム紹介

このプログラムは、藝大出身のアーティストが酒田市で滞在制作を行う「アーティスト・イン・レジデンスさかた」にて3月に開催する～アーティスト×まち歩きツアー「酒田散漫さんぼ」～プレイベントとして行われます。詳しくは酒田市HPまで

「酒田散漫さんぼ」のプレイベントとして、アート鑑賞プログラムを3回実施し、44名が参加しました。

東京藝術大学×酒田市連携企画「アーティスト・イン・レジデンスさかた」

よく聞き・話す「まち歩き」

酒田散漫さんぼ

参加者募集



酒田市街地を歩きながら、参加者と一緒に「まち」や「自身」について話す、ちょっと変わった「まち歩き」です。

『酒田散漫さんぼ』は、案内人とまちを歩くことをきっかけに、それぞれの「まちのみえ方」を交換する「まち歩き」です。同じものを見ているようでも、話してみると案外お互いに見えているものは違ったりするもの。参加者と「まちのみえ方」を交換し合って、いつものまちに別の風景を重ねてみませんか？

第1回 2025年3月15日（土）13:00～16:00

『商店街の記憶を歩こう！』中心商店街

集合→解散：交流ひろば→交流ひろば
みなさんの記憶を集め、コースを作って歩きます

第2回 2025年3月20日（木・祝）13:00～16:00

『酒田市と映画を語ろう！』港座

集合→解散：交流ひろば→港座
港座大シアターを貸し切り、贅沢な暗闇を体感

第3回 2025年3月29日（土）9:00～12:00

『酒田大火を辿ろう！』酒田市街地

集合→解散：交流ひろば→希望ホール
元消防士さんをガイドに、炎の軌跡を辿ります

対象 / 高校生以上

定員 / 各回20名

参加費 / 500円

- * 1回のみの参加も可能です。
- * 毎回地元の方に案内人を担当していただきます。
- * 雨天決行・荒天中止
- 申込み先・お問い合わせ / 二次元コード、または文化政策課 電話：24-2995
- 参加申込期間 / 3月1日～
- 各回前日の午後5時まで

主催 / 酒田市（酒田市文化芸術推進プロジェクト会議）
協力 / 東京藝術大学キュレーション教育研究センター
企画 / 招聘アーティスト 佐藤悠 yusatoweb.com



▲申込みフォーム



▲プログラム紹介

このプログラムは、藝大出身のアーティストが酒田市で滞在制作を行う「アーティスト・イン・レジデンスさかた」の一環として実施されます。

「アーティスト・イン・レジデンスさかた」について

酒田市では令和6年度から文化芸術推進計画の基本理念である「社会包摂」と次世代の「育成」の実現に向けて、社会の各セクターと文化芸術の間に立って調整役を果たす「市民アートコーディネーターの育成事業」に取り組んでいます。

「アーティスト・イン・レジデンスさかた」は育成事業の一環として、酒田市民が市に滞在して制作活動を行うアーティストと交流し、多彩な表現活動を経験できる場として位置づけられた企画です。

招聘アーティスト・「酒田散漫さんぽ」企画： 佐藤悠

一見何も無いところから、表現が紡ぎ出される現場を作っている。地域などに滞在し、協働でプロジェクトを行う他、パフォーマンス、レクチャー、ワークショップなど、様々な表現を場や機会に応じて発表。主な作品に、一枚の画面に絵を描きながら、参加者と即興の物語を作るパフォーマンス「いちまいばなし」などがある。近年は美術鑑賞プログラムの開発にも力を入れており、美術館、教育施設、企業等で実践を行っている。

yusatoweb.com



酒田散漫さんぽ（さかたさんさん）

「酒田散漫さんぽ」は、参加者が案内人とまちを歩く中で、「まちを見つめる視点を交換する」試みです。参加者は場所・記憶・人をきっかけに、感じたことを口に出し、お互いが持っているまちの記憶や印象を交換し合います。

同じまちを見つめていても、見えている景色はお互いに違うのかもしれませんが。まちを歩きながら、その違いを知り、様々な出会いと、話し合いの機会を作る活動です。

「散漫」を名に冠しているように、この活動は「まとまりのないこと」を大切にしています。解決策や結論を目指すのではなく、参加者が話したいことを口々に発話しながら、お互いを聞いてもらえる、自由な話し合いの場を推奨し、互いの違いを確認し合うために、話し合いを続けます。

実施することで、価値の交換や気づきが起こること、心身の状態が向上すること、まちとそこに関わる互いを知ることが期待しています。

招聘アーティスト・観光客・移住者含め、酒田に関わるすべての方にとって、互いや土地を知り、出会うためのプログラムとして機能することが理想です。

第1回「中心商店街の記憶を歩こう！」

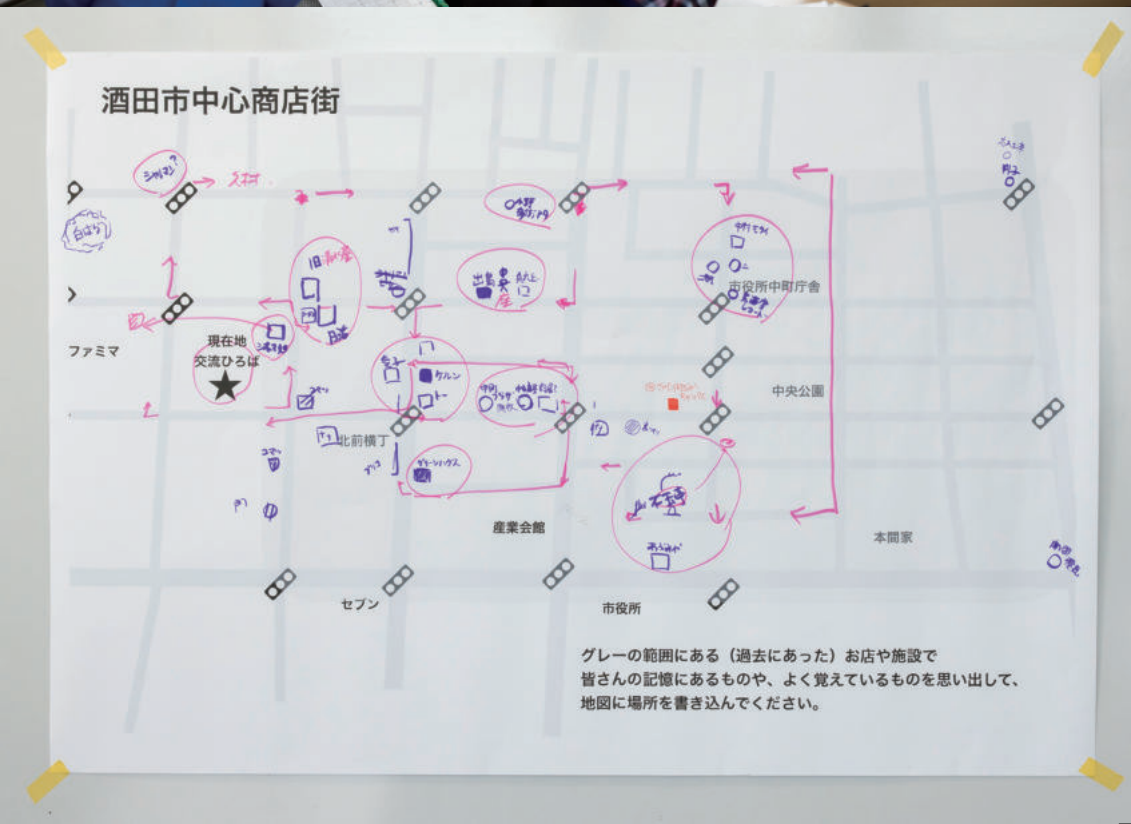
2025年3月15日（土）13:00～16:00

歩く場所：中心商店街

案内人：佐藤信子（まちなか案内人）

参加者11名

内容	分
交流ひろばに集合。挨拶・概要説明	10
案内人の自己紹介	10
「話し合いの心得」を伝え、参加者の自己紹介 中心商店街について、ご自身の思い出を話してもらおう。 ＊市外の参加者は、自身の身近な商店街の記憶を話す。 白地図に場所をマッピング。	30
出てきた情報をまとめ、案内人が即興でコースを作る。	10
さんぽ開始。案内人も参加者も口々に話しながら街を歩く。	90
集合場所に帰り、振り返り	30







第2回「酒田市と映画を語ろう！」

2025年3月20日（木祝）13:00～16:00

歩く場所：港座

案内人：阿部剛（オーナー）・菅原弘徳（支配人）

参加者16名

内容	分
交流ひろばに集合。挨拶・概要説明	10
映画の思い出について話し合いながら、参加者の自己紹介	40
港座へ移動	15
港座にて案内人自己紹介・館内を散策	60
ロビーにて歓談	15
大劇場にてミニ上映会・港座の今後について話を聞く	40







第3回「酒田大火を辿ろう！」

2025年3月29日（土）9:00～12:00
歩く場所：酒田大火の火元から延焼範囲
案内人：土井寿信（元消防長）
参加者17名

内容	分
交流ひろばに集合。挨拶・概要説明	10
大火の記憶について話し合いながら、参加者の自己紹介	35
大火の記録映像を鑑賞	15
案内人と火元からまちを巡る	75
希望ホールに集合、振り返り	40
「明日に生きる酒田」を聞いて解散	5







参加者の声

自分の含め、さまざまな世代の懐かしい場所の思い出を知ることができただけでなく、新たな発見もたくさんあり、散策中次々と湧いてくる思い出話は共感したり勉強になったりととても面白かった。
(男性30代)

いろいろな世代が集まると異なる視点での「まち歩き」ができました。「思い出」の印象は人によって、場によって変わることが面白かった。物語は延々と続くもの。語り継いでほしいと思います。
(女性60代)

新しい視点で酒田をみることができました。(男性40代)

なかなか入れない映画館を見ることができてよかった。いろいろな人の話が聞けて良かった。(女性60代)

知らないことがたくさんあってとても勉強になった。もっともっといろいろしりたいと思った。(女性60代)

寺町の寺めぐりをしてみたい。私を含め多数同じことを話しました。地元のことなのに知らないことばかりでした。(女性60代)

第1回目から参加したが、どのテーマもガイドや他の参加者から興味深い話がたくさん聞けて本当に面白かった。(男性30代)

イベントのあり方が素晴らしいと感じました。企画の方の雰囲気づくりをはじめ、ガイドの方、参加のみなさんとの交流を通じて大変学びの多い有意義な時間でした。ありがとうございました。
(女性20代)

まち歩きが異なる視点を与えてくれました。(男性70代)

<「散漫さんぽ」基本の流れ（3時間程度の実施）>

①参加者の自己紹介：45分程度

参加者が順番に、「テーマ・場所」に関係する記憶を話す。異なる地域の話でも良い。
ここに時間をかけると、自由に話し合える安心環境ができる。

②まち歩き・探索：60分程度

「テーマ・場所」を歩きながら、「案内人」の話を聞く。
それをきっかけに、参加者も口々に話す。

③振り返り：45分程度

歩いてみて、伝えたくなかったことを誰もが自由に話す。
結論をまとめない。時間が来たら終了する。

<企画の前に>

「案内人＝まちに関わる人へ、伝えたい思い・熱がある方」
「案内人」との出会いから企画が始まる。はじめに人ありき。
「案内人」の想いをよく聞き、「テーマ・場所」を決める。

<話し合う時の心得>

- ・何を言っても（言わなくても）良い。（したいようにする）
- ・遮らずよく聞き、「正しさ」より互いの「違い」を確認し合う。